地域の伝統 華やかに受け継がれる

市内の各地域の神社などで秋の伝統行事が行われました。 受け継がれてきたさまざまな行事は、地域の皆さんの支えによって次の世代に しっかりと伝えられ、華やかに秋を彩っていました。





01. 吉原の太刀振 02. 鈴鹿神社の祭礼 03. 湊十二社神社の祭礼

激しいプレイで観客を魅了!

10月26日と27日、文化公園体育館でプロバスケッ トボール bj リーグ京都ハンナリーズの公式戦が行われ ました。京都ハンナリーズは、激しく熱いプレイで観客 を魅了。目の前で繰り広げられる白熱したゲームに大き な歓声が上がっていました。

また、27日の試合開始前には、京都ハンナリーズ から、台風 18 号災害被災者への義援金が多々見市長 に手渡されました。





01. 素早いドリブルでディフェンダーを振り切る 02. 激しい空中戦

花いつぱい まちにも 心にも

11月1日~30日、舞鶴東自治連合会が「花いっぱい運動」と「街 のクリーン作戦」を行いました。これは、花でまちをいっぱいにし、 訪れる人を「おもてなし」しようと今年から始めたもの。

「花と緑の公社」から提供された色とりどりの花が咲いたプランター を JR 東舞鶴駅前から大門通りの道沿いに設置したほか、同連合会に 加盟する30町内会の各家庭が工夫を凝らし花でまちを彩りました。

◀プランターを道路沿いに設置

おもちゃを治療してもらったよ

11月17日、リサイクルプラザで市内で初めて「まいづる・おもちゃ 病院」が開催されました。おもちゃ病院は、ボランティアで参加する おもちゃドクターが壊れたおもちゃの修理を行い、子供たちの元へ返 す取り組みで、「ものを大切にしようとする」気持ちを育もうと、まい づる環境市民会議循環型社会プロジェクトが主催したもの。

当日は、動かなくなったおもちゃを持った親子40組が来院し、10 人のドクターが丁寧に治療。思い出のいっぱい詰まったおもちゃが動 くようになって、子どもたちは大喜びでした。



▲おもちゃを持って来院した親子と診察するドクター

時間旅行博物館へようこそ ~ 新たなアートプロジェクトが始動







10月27日と11月10日、赤れんが配水池(旧北吸浄水場第一 配水池)で、「時間旅行博物館」を2日間限定で開館。これは現代美 術家の北澤潤氏が発案した舞鶴の過去・現在・未来を巡る市民参加 型のアートプロジェクトで、一般社団法人 torindo と市、市教育委 員会が主催。

中を入ると、なつかしい民具や写真などが時系列に展示されてお り、見る人は過去から現在へと時間旅行に誘われます。未来へ向かっ た展示コーナーでは、子供たちが描いた「未来の絵日記」が壁面に 飾られ、1万年後の地球を描いた風船も展示。歴史を感じる赤れん が建造物は現代美術の作品空間となりました。

今後、この「未来の絵日記」をもとに、「30年後の商店」が商店街 に開店したり、「100年後の家」が現れたりと、さまざまなことが計 画されています。人々が出会い、参加して、驚きや感動・喜びを共有 する…それ自身が作品となるアートプロジェクトが動き始めました。





01. 民具や写真が年代を追って並ぶ 02. 赤れんが配水池外観 03. 過去と現在の分岐点 04. 配水池の上部 05. 子供たちが描く未来の絵日記 06. 「未来の絵日記」を展示した壁面

全国大会会場場でいっていう

(綾部高3年、若浦中出

東京都)

山田敏子(66歳、西吉原)

彡(71歳、引-·旭日双光章 瑞宝双光章

19 maizuru 2013 - 12